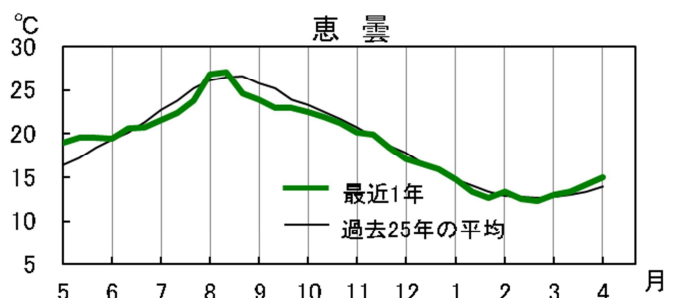
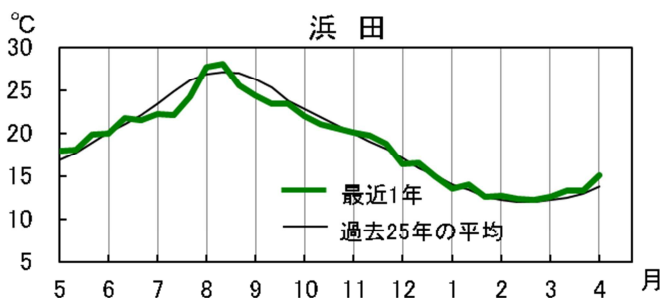




《3～4月の海況》

3月	月平均	平年差	評価
浜田	13.1℃	+0.5℃	やや高め
恵曇	13.4℃	+0.4℃	やや高め

沿岸定地水温は、浜田地区では3月は、上・中旬は「やや高め」、下旬は「平年並み」となり、3月に入り上旬時点で「はなはだ高め」で経過しています。恵曇地区では2月は、上旬は「平年並み」、中旬は「やや高め」、下旬は「かなり高め」と変動し、3月に入り上旬時点では「かなり高め」で経過しています。



《3月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は39.9トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類が844トンで漁獲割合の約9割を占め、平年の5.8倍となりました。隠岐地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は、71.3トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は7,377トンで漁獲割合の約8割を占め、平年の4.9倍となりました。なお、イワシ類は、ウルメイワシが109トン、マイワシが70トン漁獲されました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ主体(全体の99%)の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は712kgで平年を上回りました。一方、西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)のみが漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は242kgで平年を大きく上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではマフグ、キダイ、アカムツを主体に、1統1航海当たり漁獲量は15.2トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、マフグは平年の9割、キダイは平年の1.8倍、アカムツは平年の2.6倍でした。その他、ソウハチは平年の6割、ムシガレイは平年の4割、例年水揚げの少ないチダイは2.5トンで平年の23倍の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではヒレグロ、アカガレイ、ソウハチが主体で、1統1航海当たり漁獲量は832kgで前年の9割、平年の9割の水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ヒレグロは平年の1.1倍、アカガレイは平年の1.4倍でしたが、ソウハチは平年の3割と不調でした。その他、ニギスは平年の6割、アナゴ・ハモ類は平年の1.8倍、マフグは平年の7.6倍、アンコウは平年の6割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、マアジ、ヤリイカ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は7.5トンで平年並みの水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サワラ類、マアジがそれぞれ平年の2.9倍、1.2倍の他、多くの魚種で平年並みか平年を上回りました。石見地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は5.4トンで平年の1.4倍の水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、例年水揚げの少ないサバ類が2トンで平年の100倍以上、マアジが1.3倍でした。隠岐地区ではスルメイカ、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は19.0トンで平年の1.8倍の水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、スルメイカ、マアジがそれぞれ平年の6倍、2.5倍で、総漁獲量の8割以上を占めました。

【釣・縄】

出雲地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は45kgで平年を上回りました。石見地区ではブリ、ヒラマサ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は27kgで平年を下回りました。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は29kgで平年並みでした。

※今回の漁獲統計データは、暫定値を使用しています。

【平成 28 年 3 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類	958 トン	127%	337%	39.9 トン	100%	210%	◎
	隠岐	サバ類	8,679 トン	153%	123%	71.3 トン	126%	101%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	211 トン	329%	281%	712kg	115%	128%	◎
	西郷	スルメイカ	1.5 トン	25,832%	1,231%	242kg	404%	649%	◎
沖合 底びき網	浜田	マフグ、キダイ、アカムツ	348 トン	91%	97%	15.2 トン	95%	114%	◎
小型底曳網	大田	ヒレグロ、アカガレイ、ソウハチ	456 トン	88%	93%	832kg	91%	90%	▲
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、マアジ、ヤリイカ	75 トン	80%	96%	7.5 トン	80%	105%	○
	石見	サバ類、マアジ	16 トン	93%	118%	5.4 トン	93%	142%	◎
	隠岐	スルメイカ、マアジ	57 トン	246%	184%	19.0 トン	246%	184%	◎
釣り・縄	出雲	ブリ	82 トン	119%	129%	45kg	116%	118%	◎
	石見	ブリ、ヒラマサ、サワラ類	22 トン	69%	51%	27kg	88%	81%	▲
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類	26 トン	243%	147%	29kg	168%	101%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5 月号から再開する予定です）。